



第58号

港北区スポーツ推進委員
連絡協議会広報誌

活き 生きスポーツ進

KOHOKU

平成29年3月発行
発行者
港北区スポーツ推進委員連絡協議会
編集
港北区スポーツ推進委員広報委員会
事務局
横浜市港北区大豆戸町26-1
横浜市港北区役所地域振興課内
電話 045-540-2238
FAX 045-540-2245

1月8日(日) 第32回港北駅伝大会



網島連合チームが
通算8勝、4連覇を達成。

大会概要

開催日時:平成29年1月8日(日)
会場:日産フィールド小机
天候:晴れ
最低2.4℃,最高6.7℃
参加者:254チーム(1,495人)
申込:272チーム(1,598人)

「再生へ向かって」

網島連合チーム監督兼、網島ランニングクラブ代表
網島地区スポーツ推進委員 古家 彰一

2016年春、これまで網島を育ててきてくれた山上監督は、9月に転勤が決まった。そして、スポーツの私が網島監督を引き継ぐことになった。私も含めて誰もが網島駅伝チームはもうだめだとあきらめ、途方にくれていた。そんなとき、「ひとりで抱え込む必要はない、みんなでやろう。」大人の選手が全員集まって、みんなでコーチしようって立ち上がってくれた。やるしかない。逃げたらだめだ。網島駅伝チームの灯火を消すな。そして、5月から網島ランニングクラブT.R.C.を発足し、山上前監督が9月まで、私たちにコーチングを指導してくださることになった。

1回目の練習はなんと子供たちと選手が25人。父兄のみなさんもおたくさん来てくださった。「みんな、心配していたんだ

な一。」不安だらけで、始まったT.R.C.の活動もみなさんのおかげで、徐々に楽しく走れるチームになっていきました。半年かけてコーチ育成に努めてくださった山上前監督には感謝で一杯だ。楽しく走ること、魅力あるチーム作り、それだけを考えてきた。笑顔があふれるチームには人が集まってくると信じて、選手ひとりひとりと対話し、子供たちとのコミュニケーションを大切にしたい。ひとりひとりの駅伝に対する思いやこれからの目標を確認しながら、弱点をみつけ、認識しあい、どうしたら克服できるか一緒に考えた。そんなことをコツコツ積み上げた結果、子供たちは驚くほど成長した。そして迎えた集大成の港北駅伝大会本番、新生網島の初陣でした。挑戦者として、尊敬する名だたる強豪の連合町会チームの胸を借りた。

末筆になりますが、ご支援を頂いた網島連合町会、青少年指導員、スポーツ推進委員、選手父兄のみなさん、本当にありがとうございました。

第32回港北駅伝大会 大会結果

	連合町内会の部	一般男子の部	高校男子の部	高校女子の部	中学男子の部	一般(中学)女子の部
第1位	網島連合S 01:13'30"	ニッキーズ 01:05'14"	新栄A 01:11'14"	白鷗女子高校 01:18'46"	大綱中A 00:50'55"	大綱中A 00:58'38"
第2位	大倉山連合(太尾)A 01:17'05"	横浜ウインズA 01:05'33"	横浜高校A 01:13'23"	荻田高校A 01:21'06"	山内中A 00:52'09"	樽町中陸上部A 00:59'53"
第3位	大倉山連合(太尾)B 01:20'21"	ようたと愉快な仲間たち 01:07'29"	荻田高校B 01:14'22"	荻田高校B 01:21'31"	都田中陸上競技部 00:53'05"	高田中学校女子A 01:02'44"
第4位	篠原A 01:20'59"	ザ・スペースV 01:09'14"	新栄B 01:14'48"	新栄高校 01:24'50"	神奈川中学校A 00:53'49"	新田中陸上競技部 01:03'02"
第5位	網島連合A 01:21'18"	SUIRAN-R 01:12'27"	横浜高校C 01:15'23"	翠 嵐 01:33'28"	新田中陸上競技部 00:53'50"	大綱中B 01:03'36"
第6位	あすなろ連合町内会A 01:22'28"	横浜ウインズB 01:12'39"	荻田高校A 01:15'25"	横浜国際高校 01:37'18"	日吉台α 00:54'07"	神奈川中学校女子 01:04'45"
距離	20km	19km	22km	22km	15km	15km

※距離はおおよその数値です。 ※区役所では記録集を配布しています。



▲優勝した網島連合チームの皆さん

区間賞を受賞された皆様



大倉山(太尾)連合

第2区
太尾小学校5年生
北原 怜奈選手

今回の港北駅伝は私にとって4回目の出場だったので、あまり緊張すること無く走ることが出来ました。

私は2区を走りましたが、2位でタスキをもらってから

は、前を走っている選手に追いつき追い越す気持ちで全力で走りました。途中、仲間の応えんが力になり、ペースを落とさずとなく3区の選手へタスキを渡すことが出来たと思っています。

日ごろは大倉山(太尾)連合チームの仲間と週末にタイムトライアルやミニハードルなどの練習しています。

チームの仲間とひとつになって、一本のタスキをつなぐ駅伝は私にとって、とてもみ力のあるスポーツで、駅伝を通して友達も増えました。

今年、大倉山(太尾)連合チームは2位という成績だったけど、来年は優勝めざして仲間と頑張りたいです。



網島連合S

第4区
一見 仁選手

網島連合チームは前回大会後に監督が交代した。前回は当時の監督から告げられた目標タイム、その期待と信頼に1秒届かなかった。チームは優勝したが悔しい思いが強く残った。たかが1秒されど1秒。

この1秒の悔しさに向かい続け続けた1年だった。

そして今年、新監督からもらった目標は昨年私の記録より20秒以上速い昨年の区間賞のタイムだった。これを1秒でも上回り区間賞を獲れというメッセージと感じた。設定される目標次第で私たちのやる気、悔しさ、喜びは何倍にも増幅し、達成・未達成拘らずより大きな意味をもたらす。2年に亘る2人の名監督の目標設定の妙を感じ、大きく成長できた大会となった。※普段の燃料として薪を使っています。伐倒後原木をいただけるとうれしいです。ご一報下さい。

イチミ @PC aglance@gmail.com / @Mobile ichimi-116@willcom.com

第5区
高田小学校6年生
富本 崇正選手

「区間賞、おめでとうございます。」と言われた時はすごく嬉しくて気持ち良かった。賞状とメダルをもらうとさらに嬉しくなった。去年の悔しさをはらす

ことができた。

去年の港北駅伝にも出た。区間賞を狙っていた。しかし前日の夜中に耳が痛くなった。中耳炎になっていたのだ。痛み止めを飲んで走った。でも体が思うように動かず、結果は区間7位。すごく悔しい思いをした。その悔しさをはらしたかった。そして当日、体調は良く、絶対に区間賞を取ってやるという気持ちになった。タスキをもらおうと始めからダッシュした。後半もペースを落とさないように気を付けた。初めての区間賞だった。

この区間賞を自信にして、これからも陸上をがんばっていきたい。



高田A



篠原A

「正夢の区間賞」

第7区
篠原小学校3年生
橋本 璃々選手

駅伝大会は今年で二度目の出場でした。去年は17位だったので、今年区間賞をもらいました。この事を親に言った

ら「もし区間賞をとったらプレゼントをあげよう」と言われ、もっととりたいたいという気持ちになりました。前日に区間賞をとった夢を見たので、正夢になれと思えました。そして当日走った時、いけると思いラストは猛ダッシュをしました。走り終わった後、友だちに「リリちゃん1位で区間賞だよ！よかったじゃん。」と言われてびっくりして見に行くと本当に1位でした。分かった瞬間、親にだきつきました。表彰式で名前をよばれメダルをもらいうれしかったです。そして後日プレゼントをもらいました。来年も出られたら区間賞をとりたいです。

区間記録

区間	距離	1位			2位			3位		
		氏名	チーム名	記録	氏名	チーム名	記録	氏名	チーム名	記録
1区	4km	新田 龍宏	網島連合S	00:12'23"	有賀 裕亮	大倉山連合(太尾)A	00:12'34"	松平 伊織	大倉山連合(太尾)C	00:13'36"
2区	1km	北原 怜奈	大倉山連合(太尾)A	00:03'55"	井川 遥	網島連合A	00:04'10"	服部 秋	大倉山連合(太尾)B	00:04'11"
3区	3km	有馬 龍	網島連合S	00:09'28"	有賀 智輝	大倉山連合(太尾)A	00:09'31"	川野 秀虎	大倉山連合(太尾)B	00:10'34"
4区	3km	一見 仁	網島連合S	00:10'03"	石井 徹治	篠原 A	00:10'08"	服部 文祥	大倉山連合(太尾)A	00:10'13"
5区	1km	富本 崇正	高田 A	00:03'47"	矢原 功大	網島連合S	00:03'49"	山本 晃成	大倉山連合(太尾)A	00:03'55"
6区	3km	新地 歩果	網島連合S	00:12'29"	大籠花保里	菊名地区連合町内会	00:12'56"	出口 恵	あすなろ連合町内会A	00:13'17"
7区	1km	橋本 璃々	篠原 A	00:04'47"	仁谷 美咲	網島連合B	00:04'50"	松本 滯奈	網島連合S	00:04'51"
8区	1km	倉田悠太郎	高田 A	00:04'25"	飯森 伊吹	網島連合S	00:04'27"	中山 斗翔	あすなろ連合町内会A	00:04'29"
9区	3km	山端百合恵	網島連合S	00:11'44"	貴島 優衣	高田 A	00:13'01"	中田さやか	篠原 A	00:13'03"

『駅伝チーム、三ツ星目指して』☆☆☆

大倉山地区駅伝監督 木村 洋

コラム

大倉山(太尾)連合の青いTシャツには星マークがついています。10連覇から優勝の度に星を追加する事になりました。そう、漫画『サーキットの狼』に出てくる左近のボルシェのアレですね。ここ数年2つの状態が続いているので、来年は勝って3つに増やします!その為には、大人も小学生も練習です。例年、小学生は健民祭後から定期的な練習会になりますが、今年は春先から開始します。その一環として3月25日に港北地区の小学生合同陸上練習会を開催します。児童達がお互い刺激あって、練習へ取り組む気持ちが上がる事を期待しています。合同練習会は初めての試みです。今後継続的に開催して、地域間交流のお役に立てれば幸いです。



第30回 港北区グラウンドゴルフ大会

▶晴天の鶴見川樽町公園にて



春の訪れが間近に感じられるほど、うららかな日和のもとで開催された今大会。地区予選を勝ち抜いた26チームと、申込多数により抽選経て参加が叶った46チームの計72チーム(432名)にご参加いただき、盛況のうちに終えることができました。

大倉山地区代表
神明Bチーム 竹内 豊

大倉山地区の予選会で優秀な成績で勝ち上がり、念願の地区代表チームとして区大会に出場することができました。

今年も関係者の皆様は早朝からコースの設定等で一生懸命頑張っていました。そして今年はこの時期にしては暖かく、天候にも恵まれた大会になりました。今年の参加チームは、地区代表と一般参加と合わせて、72チームの参加がありました。そして各チームの皆さんは上位を目指して頑張っていました。その中で今回、我々大倉山地区代表チーム(神明B・下町シニアGG)が仲間の皆さんと力を合わせ最後まで頑張った結果、優勝という素晴らしい成績を収めることができました。これも日々練習のおかげだと思っています。

これからも、健康を維持するためにも仲間の皆さんと一緒に無理をしないで楽しく練習をしていきたいと思います。

最後になりますが、港北区スポーツ推進委員の皆様方には、感謝の気持ちで一杯です。有難うございました。



鶴ねんクラブB
横溝 芳徳選手

ハイスコア賞 受賞者インタビュー

まめどD
田中 美代子選手

今回の大会に、鶴ねんクラブは2チーム参加しました。私はBチームとして出場し、今日は一日楽しくゲームをして、少しでも上位に入れたいとチームメンバーと話し、参加しました。私のBチームは二試合目だったので、まず、Aチームの応援をしていたところ、8ホールが終わった時点のAチームの得点を見て、上位進出の可能性を大いに感じました。Aチームに負けじとハッスルしたところ、偶然にも、一試合目に2本のホールインワンが出て13点、二試合目でもまた1本入り16点。合計3本のホールインワンを達成できました。これがハイスコア賞につながったと思います。

今回の大会は、グラウンドコンディションと天候に恵まれたこと、わがチーム鶴ねんクラブAとBが優勝と準優勝に入賞したことが、個人の賞よりうれしかったです。これからも各チームとの親睦を深め、次回に挑戦したいと思います。



男性の部

この度は第30回港北区グラウンドゴルフ大会に出場し「ハイスコア賞」を頂きました。

私としては思いがけない事だったので大変うれしく思っています。若い頃からスポーツが好きで色々やりましたが、74才にして初めての受賞なので今だに信じられない思いです。大会当日にチームの人達から「楽しくやろうね」と声を掛けてもらいとてもとても気が楽になりました。楽しくプレイ出来ました。皆さんありがとうございます。

これからも練習、健康、そして色々な人達との交流を大切にしてがんばります。(ちなみにこの日は私の誕生日だったので最高のプレゼントになりました)

最後に大豆戸G・G同好会の皆さん、今後共よろしくお願います。



女性の部

★当日は4番ホールのみホールインワン賞ホールと設定されました。

第30回 港北区グラウンドゴルフ大会 大会結果

【地区対抗】(2チームの合計)

	地区名	チーム名	スコア
第1位	大倉山	神明B	520
		下町シニアGG会	
第2位	樽町	パークラビッツA	524
		樽町第一親和会	
第3位	菊名	菊名A	529
		菊名B	

【チーム対抗】(2ラウンドの合計)

	チーム名	スコア
第1位	鶴ねんクラブA (一般参加)	228
第2位	鶴ねんクラブB (一般参加)	236
第3位	TCC A (一般参加)	243

【ハイスコア賞】

	チーム名	氏名	スコア
男性	鶴ねんクラブB	横溝 芳徳	29
女性	まめどD	田中 美代子	33

【ホールインワン賞】

チーム名	氏名
大倉山GG会A	伊藤 亀代子
ゾエロ-藤原西	八田 康孝
樽町親友クラブ	宇佐見 和美
TCC C	高杉 マサ子
末広会	宮坂 貞子
TCC A	小泉 貞昭
鶴ねんクラブB	横溝 芳徳

※チームナンバー順に記載

1月15日(日) 横浜市 2月4日(土) 神奈川県 スポーツ推進委員大会

「みんなと楽しく20年」

永年勤続20年受賞

樽町地区スポーツ推進委員 横溝 憲治

町内会の役員さんから書類にサインしてと言われたのが20年前...スポ進(あのころは体指)って何をやるのだろう、教えられるスポーツなんかはないけど大丈夫かなと心配でした。初めての活動は子ども会行事の手伝いでした。それから盆踊り、ベタンク、健民祭、グラウンドゴルフ、駅伝と先輩方に言われるまま動いていました。スポ進はいい人ばかりで、楽しく活動がスタートできました。

数年するとグラウンドゴルフ、ベタンクなどは競技スポーツとは違った一面があると気付かされました。年齢や体力に差があっても工夫次第で一緒にスポーツしながら仲良くなれると実感しました。それから参加者もスタッフも楽しめる地域スポーツイベントを目標に活動しています。

ここ数年は私の担当が町内会イベントの企画運営が中心になってしまい、区の行事への参加が減ってしまったことがちょっと寂しいところです。こ



の20年で最大の収穫は地域に仲の良い人が沢山できたことです。これからも楽しみながらスポ進や地域の人達との輪を広げて行きたいです。

横浜市スポーツ推進委員 永年勤続者表彰 被表彰者一覧

表彰区分	氏名	地区	表彰区分	氏名	地区
10年表彰 (15名)	加藤 康廣	日吉	20年表彰 (5名)	古山 信孝	大倉山
	板垣 晴久	日吉		森本 寿喜	篠原
	松尾 増枝	日吉		加藤 輝彦	篠原
	酒井 誠	日吉		大熊 克彦	城郷
	岸 洋司	網島		石井 雄二	新吉田
	吉原 修	網島		小田美代子	日吉
	山上 幸夫	網島		喜田 賢次	日吉
	人見 昇	網島		小川 良枝	網島
	岡村 宏隆	大曽根		横溝 憲治	樽町
	飯田 勝裕	菊名		岩間 秀次	新吉田

2月18日(土) スポーツシンポジウム講演概要報告

「『侍魂』～挑戦が作り出す未来～」

講演者 吉田 義人氏



ラグビー元日本代表・世界選抜現在、7人制ラグビーチームサムライセブン監督。

1992年、世界選抜として出場したオールブラックス戦での吉田氏のダイビングトライシーン。当時の映像を観た参加者からは思わず、驚嘆の声が漏れた。

吉田氏は以下のように述べられました。「世界の3大スポーツ大会は夏のオリンピック、サッカーワールドカップ、ラグビーワールドカップ(以降、RWC)です。このうちの2つが2019年、2020年と続けて日本で開催されます。なかでも2019年のRWC決勝戦はここ横浜で開催され、大変な盛り上がりになるでしょう。私も横浜市民として誇りに思います。

ラグビーは正々堂々プレーする勇気や、仲間への思いやりなどを身に付けることができる素晴らしいスポーツです。教育面でも限らない効果が期待できるため、多くの子どもたちに経験してほしいです。リオ・オリンピックで注目された7人制ラグビーは、展開が速く、ルールもわかりやすい。15人制ラグビーに比べてケガも少ないため、子どもだけでなく女性も楽しめます。

私はラグビーを通じてたくさんの方の事を学んできました。これからは、次世代の子どもたちがラグビーの素晴らしさに触れることができる活動を行っていきます。」

日本人初のプロ契約、渡仏、7人制ラグビーチーム「侍セブン」の設立ほか日本ラグビー界を牽引してきた吉田氏。子どもたちへの教育のため、日本スポーツ教育アカデミーを設立、理事長として新たな挑戦が始まりました。挑戦の積み重ねであった人生と、RWC2019、さらにその先を見据え、ラグビーを通じた子どもたちの教育への想いを、笑いを織り交ぜながらお話しいただきました。



地域発表の様子▶

第30期を振り返って

第30期港北区スポーツ推進委員連絡協議会
会長 田中 照久

「体育指導委員」として昭和32年に初めて組織が誕生してから、平成23年の「スポーツ基本法」の制定にともなう「スポーツ推進委員」への呼称変更を経て、今期で第30期60年の節目を無事に終了することができました。これもひとえに皆様方のご支援、ご協力のおかげと心より感謝申し上げます。

港北区では13の地域で自治会の推薦を受けた155名の委員が、市より委嘱を受け、地域のスポーツレクリエーション活動の重要な担い手として活動しております。港北区の年間イベントとしては、7月「小学生スポーツフェスティバル」、11月「ベタンク大会」、1月「港北駅伝大会」、2月「スポーツシンポジウム」、3月「グラウンドゴルフ大会」があげられます。そして、13の各々の地域では健民祭を始めとした地域行事の主催・協力など、幅広い活動をしております。

さて、2019年のラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおいて、この港北区が会場となる大きなイベントの開催が決定されました。我々スポーツ推進委員の使命として、今後とも行政や関係機関と連携しつつ、大いに盛り上げていけるよう、引き続き努力してまいります。

第31期(2017・2018年度の2年間)もますますのご支援ご協力をお願い申し上げます。



編集後記

第30期スポーツ推進委員広報委員会では、53号から58号まで「生き生きスポ進」を発行いたしました。原稿の執筆には、多くの関係者の皆様にご協力いただき、心より感謝申し上げます。また、いつも万全な準備と助言で広報委員会を支えてくださった事務局並びに執筆、校正、編集作業にあたった広報委員の皆様、まことにありがとうございました。



1号につき2回の編集会議を行っています!

広報副委員長 小松 賢吉